

# 第4回（2019年度） 赤い羽根福祉基金 助成先団体活動概要



赤い羽根  
福祉基金

社会福祉法人 中央共同募金会

## 目 次

### 新規助成先団体

助成番号	部門名	団体名	ページ
19-1	子ども家庭支援	社会福祉法人 日本国際社会事業団	3
19-2	子ども家庭支援	特定非営利活動法人 抱樸	
19-3	障がい児・者支援	特定非営利活動法人 親子の未来を支える会	4
19-4	災害関連	特定非営利活動法人 ぎふ NPO センター	
19-5	災害関連	特定非営利活動法人 さくらネット	5
19-6	災害関連	特定非営利活動法人 岡山 NPO センター	
19-7	地域福祉	社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会	6
19-8	地域福祉	特定非営利活動法人 World Open Heart	
19-9	地域福祉	一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ	7
19-10	地域福祉	特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台	
19-11	地域福祉	一般社団法人 居住支援全国ネットワーク	8

### 継続助成先団体(2年目)

18-1	子ども家庭支援	特定非営利活動法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク	9
18-2	子ども家庭支援	一般社団法人 Colabo	
18-3	子ども家庭支援	日本生活協同組合連合会	10
18-4	障がい児・者支援	全国農福連携推進協議会	
18-5	障がい児・者支援	発達障害当事者協会	11
18-6	障がい児・者支援	一般社団法人 全国重症児デイサービス・ネットワーク	
18-7	地域福祉	社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会	12

### 継続助成先団体(3年目)

17-1	高齢者支援	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会	13
17-3	障がい児・者支援	一般社団法人 Green Down Project	
17-7	災害関連	一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター	14



赤い羽根  
福祉基金

## 赤い羽根福祉基金 新規助成先団体

<b>19-1</b>	<b>部門</b>	子ども・家庭支援部門
<b>団体名</b>	社会福祉法人 日本国際社会事業団	
<b>プロジェクト名称</b>	日本語教室を介した外国につながる家族へのアウトリーチと相談支援事業	
<b>助成決定額</b>	490万円	
<b>活動概要</b>	日本に暮らす外国につながる家族に対して、当事者のニーズに即した学習機会（日本語教育、学習支援など）の場を提供し、外国籍住民の抱える課題にアウトリーチすることで、支援が届きにくい家族に対して相談支援（ソーシャルワーク）を行う活動	
<b>団体概要</b>	ソーシャルワークの手法を使い、個人が国籍、人種、信条にかかわらず尊厳を保ち、その有する能力に応じ健やかで自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とし、主な事業内容として、1. 養子縁組、2. 外国とつながりのある家族の支援（日本で暮らす難民の支援、面会交流、子どもの国籍取得支援）を実施している。	

<b>19-2</b>	<b>部門</b>	子ども・家庭支援部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 抱樸	
<b>プロジェクト名称</b>	高校中退防止と困窮孤立する子供への居住就労生活の総合支援事業	
<b>助成決定額</b>	600万円	
<b>活動概要</b>	高校中退を防止するための訪問型相談支援や、高校卒業時に家族に頼ることができない子どもたちが安心して暮らすことができるための「居住」「就労」「生活」の一体的支援の枠組み作りを強化した取り組みを実施することにより、高校中退を防止するとともに、卒業後も安定した生活への移行と生活維持による貧困の連鎖防止に取り組む活動	
<b>団体概要</b>	経済的困窮状態や社会的孤立状態にある方に対して、自立支援、社会的処遇の改善、地域生活の安定等に関する支援事業を行い、共に生きる社会を創造することを目的に活動している。	

<b>19-3</b>	<b>部門</b>	障がい児・者支援部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 親子の未来を支える会	
<b>プロジェクト名称</b>	学校における高度な医療的ケアを担う看護師ネットワーク構築事業	
<b>助成決定額</b>	550万円	
<b>活動概要</b>	地方において潜在的に学校における高度な医療的ケアに従事しうる看護師のネットワークを構築し、教育者と共に看護師教育を行うことで、人的リソースの限られた場所でも学校における高度な医療的ケアが安全に行えるようにすることを目的とし、最終的には、学校における高度な医療的ケアガイドラインの作成を目指す活動	
<b>団体概要</b>	一般市民及び障がいに関わるあらゆる家族に対して、胎児診断や障がい者に関する十分かつ適切な情報提供・収集をし、すべての人が安心して豊かな社会生活ができるような社会作りを目指して活動している。	

<b>19-4</b>	<b>部門</b>	災害関連部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 ぎふ NPO センター	
<b>プロジェクト名称</b>	災害にも強い地域づくりに向けた調査及びスキーム構築事業	
<b>助成決定額</b>	680万円	
<b>活動概要</b>	災害ボランティアセンターを軸にした災害支援ではなく、災害前の地域づくりから災害時、災害後の復興までの継続した支援を地元主体で行えるようにするため、全国での先進事例を調査するとともに、そうした事例を生かし、地域におけるステークホルダーが災害支援をテーマに平時からの地域づくりを考えることが出来るためのスキームを構築し、災害にも強い地域づくりを目指す活動	
<b>団体概要</b>	地域社会の住民が地域の課題を自ら解決し、地域を超えたより広い社会との連携に積極的に取り組むこと、また、そのような住民主体の社会を実現するため、NPOを含む住民の自発的活動を支援し、促進することを目的として活動している。	

<b>19-5</b>	<b>部門</b>	災害関連部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 さくらネット	
<b>プロジェクト名称</b>	医療的ケアを必要とする人と進む減災活動推進ネットワーク事業	
<b>助成決定額</b>	790万円	
<b>活動概要</b>	災害時においても平時においても支援が行き届きにくく「医療的ケアを必要とする」人の課題解決のため、当事者や家族の不安、生活上の負担・支援へのつながりにくさ、支援・受援のしくみづくりやその思いを受け止め、地域支援および広域支援が一体的に機能するネットワーク構築をめざす活動	
<b>団体概要</b>	人づくり、関係づくり、まちづくりに関する支援を必要とする人たち及び団体に対して、災害にも強い福祉コミュニティ創出に関する調査研究・提言・情報発信事業、協働による市民社会創造を推進するための調査研究・提言・情報発信事業、関係機関のネットワーク構築・調整事業、人材育成および人材育成プログラム開発事業を行い、可能性への共感と信頼、官民協働によるしなやかでより高次の取り組みの開発を促し、安心・安全なまちづくりを通じて、豊かな市民社会の創造に寄与することを目的に活動している。	

<b>19-6</b>	<b>部門</b>	災害関連部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 岡山 NPO センター	
<b>プロジェクト名称</b>	災害時における民間ネットワーク構築及び支援体制のノウハウ移転キャラバン事業	
<b>助成決定額</b>	780万円	
<b>活動概要</b>	平成 30 年 7 月豪雨において岡山県内で展開した災害支援ネットワークおかやまの設立とそこでの支援機能について、そのノウハウを転用可能なものとして整理をし、そのノウハウとスキルセットを研修などの方法で伝えるキャラバンを全国 6 カ所で開催することにより、同様の機能と役割をもてるネットワークが全国で立ち上がり、発災時にその連携をもって各地内外で支えあえる体制を実現する活動	
<b>団体概要</b>	NPO をはじめとした多様な主体と共に、地域の課題解決と価値創造について現実の一步先の取り組みと仕組みづくりにおかやまに根差した支援者として取り組み、この地域においてお互いの個性を尊重しあって生活できる未来型のコミュニティと持続可能な地域運営モデルの形成を図ることにより、持続可能で豊かな市民社会を実現することを目的として活動している。	

<b>19-7</b>	<b>部門</b>	地域福祉部門
<b>団体名</b>	社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会	
<b>プロジェクト名称</b>	林業を通じた持続可能な生きがい就労創生事業	
<b>助成決定額</b>	380万円	
<b>活動概要</b>	「かまいし版地域共生プログラム」として市内の森林資源に着目し、林業と福祉が連携する新たな試みで、被災地が抱える高齢者福祉の課題解決や持続可能な地域づくりをめざす活動	
<b>団体概要</b>	釜石市社会福祉協議会は釜石市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達および社会福祉に関する活動の活性化により地域福祉の推進を図ることを目的として活動している。	

<b>19-8</b>	<b>部門</b>	地域福祉部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 World Open Heart	
<b>プロジェクト名称</b>	加害者家族の社会的孤立を防ぐための全国支援ネットワーク構築事業	
<b>助成決定額</b>	300万円	
<b>活動概要</b>	シンポジウムの開催によって問題を多くの人々と共有し、全国に点在する団体や支援者で構成する犯罪加害者家族支援ネットワークを構築し、加害者家族の受け皿を広げることによって、自殺の防止、再犯の防止、犯罪の世代間連鎖の断絶を目指す活動	
<b>団体概要</b>	日本において、支援の網の目からこぼれる社会的弱者・少数者に関する調査研究を行い、社会に問題提起すること及び、当事者に必要な直接的支援と社会啓発活動を続けることで、差別や排除のない社会を目指して活動している。	

<b>19-9</b>	<b>部門</b>	地域福祉部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ	
<b>プロジェクト名称</b>	認知症の本人が参画し共に生きる地域を創る希望のリレー推進事業	
<b>助成決定額</b>	760万円	
<b>活動概要</b>	行政や支援者主体のアプローチではなく、認知症の本人が自らの体験をもとに認知症とともに前向きに生きていく希望を宣言し、それを全国各地で多様な人たちに伝え、共に希望を語り合いながら社会の認識や行動を変えていく「希望のリレー」を各地で実施することを通じて、本人からみて真に偏見のない、暮らしやすい地域を全国で着実に広げていく活動	
<b>団体概要</b>	認知症とともに生きる人が、希望と尊厳をもって暮らし続けることができ、本人が社会の一員としてさまざまな社会領域に参画・活動することを通じて、よりよい社会をつくりだしていくことを目的に活動している。	

<b>19-10</b>	<b>部門</b>	地域福祉部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台	
<b>プロジェクト名称</b>	再犯防止の効果的取り組みを全国に波及させるための調査研究	
<b>助成決定額</b>	960万円	
<b>活動概要</b>	東北エリアの自治体を対象に調査し、自治体が抱える課題や不安等を把握、分析することを通して、再犯防止推進計画の策定と具体的な再犯防止の取り組みを促進させる活動	
<b>団体概要</b>	地域で生活する路上生活者をはじめ身寄りのいない生活困窮者たちに、人間本来の尊厳を持ってもらい、孤立した状態から絆づくりを進めていくことを目的に様々な事業を実施している。	

<b>19-11</b>	<b>部門</b>	地域福祉部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 居住支援全国ネットワーク	
<b>プロジェクト名称</b>	質の高い居住支援のあり方と人材育成に関する調査研究事業	
<b>助成決定額</b>	700万円	
<b>活動概要</b>	質の高い居住支援のあり方に関する調査研究、居住支援法人の持続的運営に関する調査研究、またこれらの調査研究に基づく居住支援を担う人材の育成事業を行うことにより、居住支援の質の向上と居住支援法人の活動の持続性の確保を図る活動	
<b>団体概要</b>	適切な住居を確保することやそこでの生活を継続していくことに困難を抱えている方々に対して、住居を確保するための入居支援と、そこでの生活を継続するための居住生活支援をあわせて提供する居住支援の普及及び発展を目的として活動している。	





赤い羽根  
福祉基金

## 赤い羽根福祉基金 継続助成先団体（2年目）

<b>18-1</b>	<b>部門</b>	子ども・家庭支援部門
<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク	
<b>プロジェクト名称</b>	困難を抱える子どものための宿泊支援『WAKUWAKU ホーム』事業	
<b>助成決定額</b>	487万円	
<b>活動概要</b>	経済的な困難や家庭内の課題などを抱える子どもに対して、一緒に夕食を食べたり、宿題をしたり、宿泊にも対応できる居場所「WAKUWAKU ホーム」を設置し運営する活動	
<b>団体概要</b>	無料学習支援「池袋 WAKUWAKU 勉強会」や「にほんごきょうしつ」、こども食堂4か所、夜の児童館「池袋本町プレーパーク」（豊島区子ども課より事業委託）の運営のほか、ホームスタート事業（子育て経験をした方が、子育て中の家庭に訪問支援する）を実施するなど、子どもの貧困をテーマに、子どもと家庭を支援している。	

<b>18-2</b>	<b>部門</b>	子ども・家庭支援部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 Colabo	
<b>プロジェクト名称</b>	孤立困窮した青少年に対するアウトリーチ・自立支援モデルの構築	
<b>助成決定額</b>	980万円	
<b>活動概要</b>	虐待、貧困などを背景に社会的に孤立し、家に帰らずにいる子どもたちに、声かけや傾聴など見守り活動を通じて、すべての子どもが危険につながらないように支援者の養成等や居場所づくりをおこない、青少年が犯罪に巻き込まれない社会をつくるための活動	
<b>団体概要</b>	社会的孤立状態や、経済的困窮状態にある人を支援する。特に10代の少女に対して、相談や生活支援、地域生活の安全等に関する支援事業をおこなうことで、困難を抱える人が搾取や暴力に行きついたり、人権を脅かされたりすることなく、健康で文化的な生活を送ることのできる社会を創造することを目的とした支援事業を行っている。	

<b>18-3</b>	<b>部門</b>	子ども・家庭支援部門
<b>団体名</b>	日本生活協同組合連合会	
<b>プロジェクト名称</b>	子どもの貧困問題の理解者・支援者を増やす為の学習活動推進事業	
<b>助成決定額</b>	490万円	
<b>活動概要</b>	子どもの貧困問題についての学習会を開催することで、地域に理解者が増え、子どもの貧困に関する支援が円滑に進められるようになること、主体的に学習会を開催する人を生み出すことで、地域でネットワークを広げるための人的資源をつくることを目的とし、学習会を開催する人を募って支援することにより、地域に学びの場をつくり、この問題への理解を広げる活動	
<b>団体概要</b>	購買・共済・医療・福祉・住宅等の事業を行う生活協同組合および生活協同組合連合会の全国的連帯を促進し、民主的運営により、事業の発展を図り、消費者・市民の自立と協同、生活文化の向上、世界平和に寄与することを目的として、会員生協への商品供給などに関わる事業や会員生協への支援、生協の全国組織としての取り組みを行っている。	

<b>18-4</b>	<b>部門</b>	障がい児・者支援部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 全国農福連携協会	
<b>プロジェクト名称</b>	関係者・機関と連携し農福連携の普及・推進・ブランド化を図る事業	
<b>助成決定額</b>	730万円	
<b>活動概要</b>	農福連携を通じて、障がい者の職域開拓や賃金向上、農業生産者の新たな労働力・担い手確保をめざして、障がい等の社会的に不利な状況にある人々を地域や社会と結び付け、さらに行政・企業・学校などの多様な地域主体を連携させることで、地域を活性化し元気にしていく活動	
<b>団体概要</b>	障がい者を含めた多様な人財が農業分野だけでなく社会において役割を持ち、当たり前存在となり、社会で共創・共生する一員となることにより、持続可能な成熟社会の構築をめざし、農業・福祉関係者だけでなく一般への意識啓発や、農業・福祉・他分野の業界・業種（行政を含む）を超えた交流・情報交換・ネットワーク化による面で支える仕組みの構築等に取り組んでいる。	

<b>18-5</b>	<b>部門</b>	障がい児・者支援部門
<b>団体名</b>	発達障害当事者協会	
<b>プロジェクト名称</b>	発達障害当事者会と行政・支援者との全国ネットワーク形成事業	
<b>助成決定額</b>	420万円	
<b>活動概要</b>	発達障がい当事者会と行政・支援者（医療・福祉）との地域でのネットワークを構築することや当事者会運営研修の開催により、社会資源の1つとして当事者が持続的な活動ができることをめざし、対話交流会の活動報告会や学会などで展示会を実施し、広く当事者会活動を社会へ発信していく活動	
<b>団体概要</b>	制度の谷間におかれた発達障がい者への理解を深めるために、当事者の「声」を集め、共生社会づくりをともに考えることや発達障がいのある人もない人もみんなが生きやすい社会をめざして、発達障がい者の社会参加が進むことを目的に、当事者の「声」を集める活動や発達障がいへの理解を深めるための啓発活動、当事者への役立つ情報発信を行っている。	

<b>18-6</b>	<b>部門</b>	障がい児・者支援部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 全国重症児デイサービス・ネットワーク	
<b>プロジェクト名称</b>	「重症児デイサービス」の設立・運営支援とネットワークの拡充事業	
<b>助成決定額</b>	884万円	
<b>活動概要</b>	増え続ける重症児（重症心身障がい児＋医療的ケア児／人工呼吸器や胃ろう・気管切開）に対し、重症児デイサービスの新規設立支援や運営・経営支援のための研修会などを通じて、どんな重い障がいを持っていても、住み慣れた地域で暮らせる社会づくりをめざす活動	
<b>団体概要</b>	主たる対象を重症心身障がい児とする児童発達支援または放課後等デイサービス事業所、およびそれらの設立をめざす者が、協力・連携してネットワーク事業を行うことで、重症心身障がい児が全国どの地域でも普通に暮らせるよう支援することを目的とし、事業者間の情報交換や交流、共同研修や勉強会、国や自治体への政策提言、事業所の新規設立、運営、経営等に関する支援などを行っている。	

<b>18-7</b>	<b>部門</b>	地域福祉部門
<b>団体名</b>	社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会	
<b>プロジェクト名称</b>	孤立化による空き家の増加を予防する多世代参加型プログラムの開発 -新たな社会貢献事業の開発に向けた協議・協働の実践と仕組みづくり-	
<b>助成決定額</b>	870万円	
<b>活動概要</b>	社会的孤立から空き家に至るプロセスを連続的に捉え、つながりの再構築から終末期であってもその人の尊厳が守られた暮らしの実現を図ることを目標とし、「新発田版リビングウィル」を開発し普及する。また、これまで培った資産の活用したつながりづくりとコミュニティ就労の機会の開発という2つの実践プログラムを開発し、地域を基盤とした協議体の組織化を進める活動	
<b>団体概要</b>	住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題（個別課題・地域課題）の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現をめざし、産学官民の連携のもと福祉コミュニティづくりと支え合いの地域づくりを推進している。	



赤い羽根  
福祉基金

## 赤い羽根福祉基金 継続助成先団体（3年目）

<b>17-1</b>	<b>部門</b>	高齢者支援部門
<b>団体名</b>	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会	
<b>プロジェクト名称</b>	都市型農園を通じた高齢者の社会参加実践の構築と評価指標の作成について	
<b>助成決定額</b>	470万円	
<b>活動概要</b>	都市型農園を通じてシニア世代の社会参加と地域活動の担い手づくりを行うとともに、その効果を検証していくことで、高齢化社会の健康寿命（特に定年後の男性）の延長と地域課題の担い手づくりのビジネスモデルを構築する活動	
<b>団体概要</b>	地域福祉を推進する団体として、校区福祉委員会を中心に小地域福祉ネットワークを組織化、福祉なんでも相談窓口を設置し、制度の狭間の課題を把握、コミュニティソーシャルワーカー設置事業により、公民協働の支援体制を図ることを目的に活動している。	

<b>17-3</b>	<b>部門</b>	障がい児・者支援部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 Green Down Project	
<b>プロジェクト名称</b>	障害者の地域就労の機会開発に向けた羽毛リサイクルシステムの構築	
<b>助成決定額</b>	800万円	
<b>活動概要</b>	ごみとして焼却されてきた羽毛商品を回収、洗浄を行い再資源化した「グリーンダウン」をアパレル・寝装具メーカーや関連商社に販売するという、これまで構築してきたリサイクルシステムのなかで、リサイクルプロセス並びに会員企業において障害者など就労困難者の労働の場づくりに焦点をあてながら、現行事業を発展・強化する活動	
<b>団体概要</b>	羽毛製品の適正処理・再資源化のためのシステムづくりやリサイクル羽毛の品質基準設定や周知・啓発をすすめることを目的とし、その目的に資するため、羽毛製品リサイクル及びリサイクルダウンに関する事業を行っている。	

<b>17-7</b>	<b>部門</b>	災害関連部門
<b>団体名</b>	一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター	
<b>プロジェクト名称</b>	全国の各市区町村の災害ボランティアセンターが、「被災者中心」「地元主体」「協働」を実現できるための研修・人材育成事業	
<b>助成決定額</b>	860万円	
<b>活動概要</b>	東日本大震災以降、31か所の市町村で災害ボランティア活動のコーディネートとともに、各被災地の社協やNPO等と連携し、中長期で災害ボランティアセンターの運営支援に携わってきた経験をもとに、全国各地で研修を実施し、「被災者中心」「地元主体」「協働」の三原則を実践できる人材の継続的な育成に取り組む活動	
<b>団体概要</b>	阪神淡路大震災以来培ってきた独自のシステムにより、国内外からボランティアを組織し、被災地の自治体等と協力して被災者の緊急支援活動および地元の雇用創出を含む復興支援活動を展開している。国内外での自然災害発生時、ボランティアが火急かつ効果的かつ持続的に被災者を救援、支援できるよう、災害ボランティアの育成と被災地へのより効果的な派遣システムの確立と普及を目的に諸事業を行っている。	